

平成 22 年度 消防庁予算（案）の概要

平成 22 年度予算額(案) 128 億 73 百万円 (H21: 132 億円)

(単位: 百万円、%)

	H22 予算額 (案) a	H22 要求額 b	H21 予算額 c	増減額 a-c	増減率 (a-c)/c
総 額	12,873	13,237	13,200	△ 327	△ 2.5
事業費等	5,057	5,170	5,038	18	0.4
消防補助金	7,817	8,067	8,162	△ 345	△ 4.2
緊急消防援助隊設備整備費 補助金	4,751	5,001	5,001	△ 250	△ 5.0
消防防災施設整備費補助金	3,066	3,066	3,161	△ 95	△ 3.0

(注) 端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。

【主要事項】

(「平成 22 年度総務省所管予算(案)の概要」に基づき作成)

(単位: 百万円)

() 内の金額は平成 21 年度当初予算額

Ⅲ 国民の生命・健康・生活を守る行政の推進

(1) 消防防災体制の整備促進及び救急救命体制の充実

○大規模災害発生時に地域を超えて的確かつ迅速に対応するため、緊急消防援助隊を充実強化

・緊急消防援助隊設備整備費補助金 4,751(5,001)

地方公共団体の緊急消防援助隊設備の整備を促進するため、車両、資機材等の整備に対して補助金を交付する。

○地震等の大規模災害や増加する救急需要等に適切に対応するため、消防防災施設の整備促進

・消防防災施設整備費補助金 3,066(3,161)

地方公共団体の消防防災施設の整備を促進するため、耐震性貯水槽、消防指令センター等の整備に対して補助金を交付する。

- 複雑多様化する各種災害に適切に対処し国民の安心・安全を確保するため、
消防の広域化をはじめとする消防機関の災害対応力を強化
-
- ・消防体制の広域化の推進 7(8)
- 消防組織法に基づく市町村消防の広域化を、平成24年度末までに実現するため、広域化の一層の推進を図る。
- 地域における自助・共助の向上による総合的な防災力の強化を図るため、
地域防災の中核的役割を担う消防団・自主防災組織を充実強化
-
- ・消防団の新戦力の確保 191(153)
- 消防団の新戦力を確保し、消防団活動を円滑化するため、入団促進の働きかけ、消防団に対する表彰、消防団員の救助技能向上のための訓練、消防団協力事業所表示制度の全国展開、青少年防災指導者研修等を実施する。
- 円滑な救急搬送・受入体制を構築するため、消防と医療の連携を推進
-
- ・消防と医療の連携による救急医療情報の活用促進 23(38)
- 救急隊員による受入照会を円滑にするため、傷病者の症状に応じた救急の受入可否情報に関するシステムを開発する。
- 住民の救急相談に、消防と医療が連携して応じる窓口の設置促進
-
- ・救急相談窓口の全国的展開 316(368)
- 消防機関に、市民が救急車を呼ぶべきか迷う場合の不安に応える救急相談窓口を設置し、相談業務と消防本部の指令センターとの連携を図るためのモデル事業を実施する。
- 救急搬送における救命率を向上させるため、救急救命士を含む救急隊員が行う救急業務を高度化
-
- ・救急業務の高度化推進 60(44)
- 救急隊員が行う救命処置のあり方の検討、消防機関と医療機関の連携推進の実態調査・検証、救急業務統計を活用した救急業務の分析・評価等を行い、救急業務全般の高度化を推進し救命率の向上を図る。
- 消防機関における新型インフルエンザ対策を強化
-
- ・新型インフルエンザ対策の推進 7(3)
- 新型インフルエンザ対策として、医療機関等との連携体制の強化に向けた検討、発生に備えた訓練等を実施する。